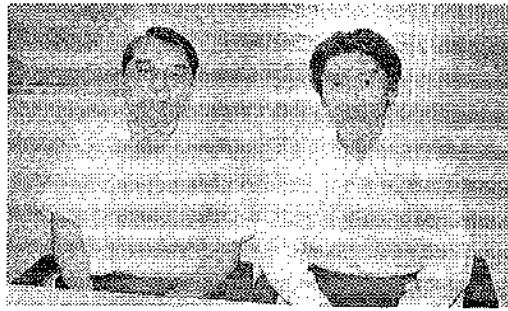


保険募集と管理システムを連動

ダンゴネット／アソシア

少額短期保険のアソシア(東京都千代田区)と、不動産システムのだんごネット(東京都武蔵野市)が、保険募集業務でシステム連携する。

アソシアの保険募集業務をパソコン画面上で処理するウェブシステム「アソシアスタイル」と、だんごネットの貸貸管理システム「貸貸名人」の一部データを連動させる。「貸貸名人」内の「物件管理情報」ページから、



▲(左から)だんごネット松川雄二社長、アソシア本間貴禎社長

データの中から、アソシアの保険契約処理に必要な情報だけを切り出して送信します。データ連動により代理店保険募集業務を大幅に削減できます」(アソシア本間貴禎社長)

必要情報がCSV形式のデータでアソシアに送信される仕組み。「貸貸管理システムの生年月日、電話番号などの基本情報のみですむようになるという。取り扱い件数の制限もない。

初。代理店の反応は上々だという。

「特に管理戸数が多い代理店に喜ばれています。当社が重視しているのは、代理店の利益率の向上。手数料収入が高くても業務に時間がかかるようならば利益率が高いとはいえません。時間もコストの一部。その部分を極力削減する対策の一つとして、システム連動は重要なものです」(本間社長)

だんごネットは「貸貸名人」などの不動産関連システムを展開、ユーザー数は約2500社。アソシアは入居者向け家財保険を扱う少額短期保険会社。代理店登録数はおよそ500社。